

里海通信

能登町立小木小学校

令和4年11月17日

2学期の里海学習も地域の方々へ協力していただき、楽しく深い学びへとつながりました。

1年生 海藻アート

春に海藻拾いをしてお気に入りの海藻を観察したり絵を描いたりしました。海藻でもっと楽しく遊ぼうと、10月に再びの海洋ふれあいセンターへ行き、海藻拾いをしました。海藻の写真を撮ってジャムボードでお絵かきをしたり、画用紙にどんぐりなどと張り付けて作品を作ったりしました。



2年生 海の生き物を飼育!

磯観察をして、見つけた生き物を教室で飼育しました。すみかをつくり、生き物を水槽に迎える活動では、どんなすみかだと生き物が住みやすいか考えながら活動を進めました。日々の生活や生活科で、気付いたことや得意技などを観察していました。観察したことを「2年生スペシャル水族館」として、1年生に紹介しました。水族館には、生き物の紹介の他に、釣りやすごろくのゲームがあり、1年生はとても楽しんでいました。昼休みは全校児童を招待して生き物に触れ合ったり、ゲームを楽しんだりすることができました。



3年生 川の生き物を飼育!

昨年海の生き物を育てた経験から、今年は川の生き物を育ててみたいという案が子ども達からでてきました。そこで、松波川へ行って、アマエビを取ってきました。金大技術職員の小木曾さんと渡部さんが用意してくださった仕掛けを引っ張ってみると、アマエビが入っていました。取ったアマエビを一か月程度3年教室で飼育する予定です。アマエビを育てる時に気を付けたほうがいいことがないかを自ら小木曾さんに質問していました。アマエビは何かに捕まっている習性があり、枝を準備したほうがいいこと教えて頂き、早速、九十九っ子の森から小さな枝を準備していました。



4年生 小木のイカを使った家庭料理を紹介しよう

「西別院小学校（京都府の交流校）の4年生に、小木の家庭で食べられているイカ料理をホームページで紹介すること」をゴールに設定し、学習を進めている4年生。どんなイカ料理が食べられているかアンケートで調査し、各チームで紹介する料理を絞り、調理に向けてレシピを完成させています。

<大好きチーム>

<全国チーム>

<小木チーム>



自分の大好きな料理を広めます。 全国どこでも調理可能な料理を広めます。 小木ならではの料理を広めます。

5年生 海洋ごみについて

もっと深く学ぼう

2学期に入ってから「赤崎海岸のごみ拾い」「海洋ごみについて海上保安署に学ぶ」「木下先生に学ぶ海洋ごみ問題」と続けて学習してきました。赤崎海岸のごみ拾いと、海上保安署との学習は小木中学校との合同学習となり、少し難しい話もありましたが、真剣に学習することができました。金沢大学能登学舎の木下靖子先生からは、プラスチックごみを減らすことの重要性和、様々な企業がプラスチックごみを減らすために取り組みを進めていることを学びました。今後は、その学びをまとめて発表する計画です。



3.2kg以上もごみを拾いました。

スポンジと海綿の違いを実物を見て学びました。



6年生 海に関わる仕事について知ろう!

海に関わる仕事について知ろう!ということで、「能登海上保安署」と「イカの駅つくモール」で職場体験を行いました。「能登海上保安署」では、巡視艇おぎかぜに乗り体験航海を行ったり、鑑識の体験で指紋を採取したりしました。海上保安官の仕事は海で困っている人を助けることだけではないという気持ちがありました。「イカの駅つくモール」では、商品のPOPを作成したり、レストランのお手伝いをしたりしました。つくモールの中にも様々な仕事があり、役割分担をして働いていることを知りました。今後、chromebookを活用し学習をまとめて行きます。また、この学習はキャリア教育にも繋がりました。

